



# 海外駐在員インタビュー Working Abroad

株式会社福井銀行

バンコク駐在員事務所

所長 木田 浩久 さん（一番右）

県内企業の海外事務所で働く駐在員の仕事内容やライフスタイルを紹介する連載企画。第4回は福井銀行バンコク駐在員事務所の木田浩久さんにお話を伺いました。

**Q.** 現在勤務しているバンコク駐在員事務所について教えてください。

タイの首都バンコクは、成長著しいASEAN経済の中心地のひとつです。バンコク駐在員事務所は都内中心部のオフィスビルに入居しており、お客様のASEANにおけるビジネスをサポートする事を目的として2014年に開設されました。また、福井県と協力し、ふくいバンコクビジネスサポートセンターを設置しており、福井県からの出向者1名、現地スタッフを含め4名で業務に当たっています。

**Q.** 普段はどのような仕事をしていますか？

貿易取引などの実務的な相談や拠点設立、ASEANでの事業展開に関する相談まで幅広くサポートしています。最近では販路拡大の相談が増えています。新型コロナウイルスの影響

により周辺諸国に直接足を運ぶ事ができないため、ウェブ面談を増やしています。また、福井県人会の事務局を担っていますので、駐在員ネットワークを活用しながら、できるだけ現地の活きた情報をお客さまに届けるように努めています。

**Q.** タイでビジネスをする上で特徴はありますか？

東南アジアの中心に位置するタイは地理的な優位性を持っていることに加えて、整ったインフラ、サプライチェーンの充実、外資優遇政策の存在、親日的な国民性などを要因に日系企業の進出数は世界第3位となっています。

また、現地の方はおおらかな人が多く、驚くことに、嬉しい笑顔や悲しい笑顔など13種類の様々な笑顔を使い分けます。ビジネスでも「楽しく」を意味する「サバライ」「サヌック」などの言葉を使うことが多く、衝突を避けて平穏を求める国民性が表れていると思います。

**Q.** 休日はどうのように過ごしていますか？

散歩やゴルフを楽しんでいます。以前はタイの国技のムエタイにもチャレンジしましたが、痛いので直ぐに挫折しました。普段の食事はスマホアプリによる宅配や外食が多いですが、日本食レストランはバンコク市内に2千店舗以上あり不自由はありません。

**Q.** 最後に、海外で働く魅力について教えてください。

海外にいると今まで知らなかった福井の良さを発見する事が出来ます。また、福井のPRをするためには自分が福井を良く知る必要があります。従来業務に加え視野が広がります。そして同じ想いを持った県人会のメンバーとのつながりや、現地でいただいたご縁は一生の財産になります。責任のある仕事ですが、それ以上に大きなやりがいを感じています。



日本食レストランに足を運び福井の地酒をPRしています